長門市油谷「ととろの里」で山口型放牧を開始しました

長門農林事務所畜産部
平成22年5月7日

長門市油谷にある「ととろの里」は四季折々の豊かな自然に囲まれた里山レストランです。この「ととろの里」では、店舗横の水田跡にシカが多数出没するため、何を植えても食べられてしまう状況に頭をかかえていました。そこで向津國十牛放牧組合に依頼し、牛の放牧による獣害防除に挑戦することになりました。

平成22年４月27日に放牧された牛は、農林総合技術センター畜産技術部から借り受けた無角和種２頭です。電気牧柵で囲まれた放牧地に放された２頭は、慣れた様子ですぐに仕事（草を食べる事）を始めました。

放牧することで牛が耕作放棄地などの草を食べてきれいにするだけでなく、草がなくなることによりイノシシやシカなどの有害獣が近寄らなくなることが知られています。

放牧は「ととろの里」の職員の管理のもと、茅の生い茂った放牧地がきれいになるまで続けられます。

管理方法の説明の様子

仕事にかかる牛達